



令和6年8月2日

海上保安庁

## 「海洋環境保全推進月間」における活動結果について ～全国各地にて海洋環境保全教室を精力的に開催！！～

海上保安庁では、5月30日（木）から6月30日（日）までを「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに、若年層を含む一般市民及び海事・漁業関係者等に対して、全国各地で海洋環境保全に関する指導や啓発活動を重点的に実施しました。

今年度は、幼稚園・保育園、小・中学校を訪問し、環境紙芝居、環境クイズや簡易水質検査など海洋環境保全教室を積極的に実施し、将来を担う若年層を中心に海洋環境保全思想の普及を図りました。

### 【海洋環境保全推進月間における活動結果】

海洋環境保全教室：99回（参加人数 4,007名）  
海浜清掃（漂着ごみ分類調査を含む）：77回（参加人数 14,218名）  
漂着ごみ回収量：約8,250袋（30リットルごみ袋換算）  
海洋環境保全講習会：18回（参加人数 403名）  
訪船指導：1,332隻  
訪問指導：218回

※ 主な取組内容は、別紙をご確認ください。



「海洋環境保全推進月間」周知啓発活動

## 主な取組内容

### ○ 海洋環境保全教室

幼児から中学生を対象に、参加者の年齢層に合わせて、環境紙芝居、環境クイズ、簡易水質検査等を実施し、海洋環境保全思想の普及を図りました。

### ○ 海浜清掃（漂着ごみ分類調査含む）

全国各地で若年層を含む一般市民と海浜清掃を実施しました。

また、若年層を対象に回収した漂着ごみの分類調査を実施し、身近な廃棄物や海洋プラスチックごみが海洋汚染に結びついている現状を体感してもらったほか、ごみの不法投棄防止の呼びかけを行いました。



環境紙芝居



海浜清掃



漂着ごみ分類調査

### ○ 訪船・訪問指導、海洋環境保全講習会等

船舶からの油の排出防止を呼びかけるため、タンカーや漁船等に訪船し、作業時の適切なタンク計測、バルブの開閉確認、燃料漏油防止タンクの適切な設置などを指導したほか、マリーナや漁業協同組合等を個別に訪問し、油の排出防止や廃棄物の適正処理について指導を行いました。

また、海事・漁業関係者やマリンレジャー等を行う方々を対象に講習会を開催し、海洋汚染の現状、油の排出防止をはじめとした海上環境関係法令の遵守等に対する理解を図りました。

### ○ 各種周知・啓発活動

地域ケーブルテレビ、ラジオ番組への出演を通じて、海洋環境保全にかかる周知を行うとともに、各部署で実施した取組を積極的にSNSに投稿したほか、空港・駅等の公共施設及び競艇場・屋内球技場・ショッピングモール等の集客施設を活用し、海洋環境保全に関するリーフレットの配布や廃棄物の不法投棄防止等にかかる啓発活動を行いました。



事業者への訪問指導



ケーブルテレビ出演による周知啓発



競艇場の大型スクリーンを活用した周知啓発